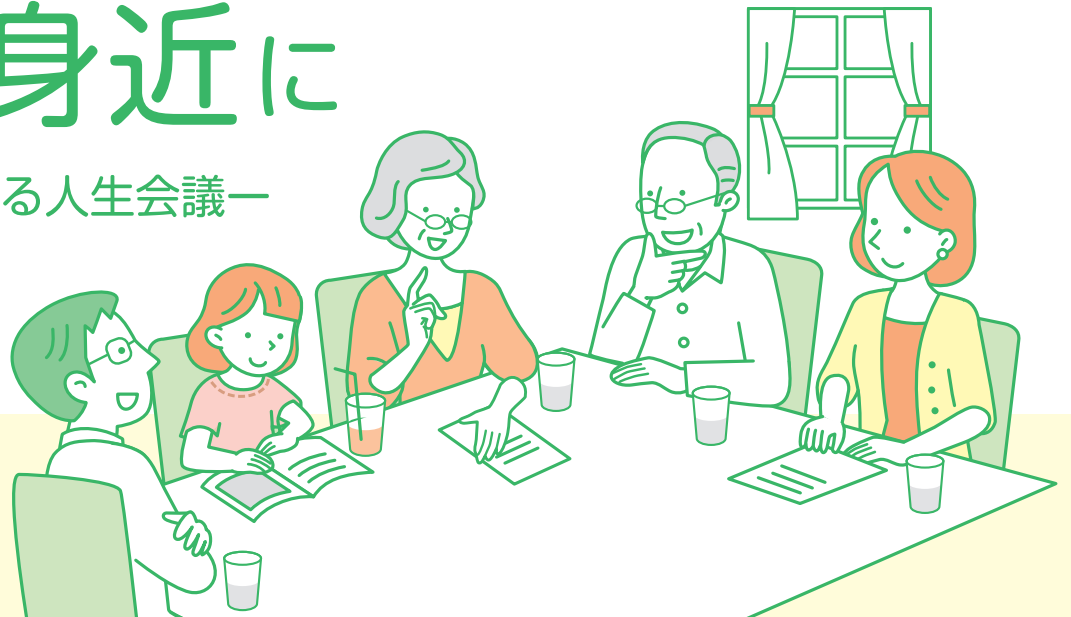


もしもの話を もっと身近に

—元氣な時に始める人生会議—



第46回

日本死の臨床研究会 年次大会 市民公開講座

参加費無料

日時

2022.
11/27 [日]
13:50~15:50

会場

三重県総合文化センター
文化会館大ホール (第1会場)

第一部

講演

「元氣な頃から人生会議 ～本人と家族、人生会議の進め方～」

講師 西川 満則 国立長寿研究医療センター 緩和ケア診療部医長
大城 京子 居宅介護支援事業所 快護相談所 和び咲び 副所長 主任介護支援専門員

第二部

動画上映 (実行委員企画・撮り下ろし動画)

「これから人生会議を始める人に、私たちが伝えたいこと」

第三部

総合討論

座長 中橋 恒 (松山ベテル病院) 辻川 真弓 (鈴鹿医療科学大学看護学部)



運営事務局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4番8号
日栄ビル703A あゆみコーポレーション内
TEL.06-6131-6605 FAX.06-6441-2055
E-mail: jard46@a-youme.jp

【共催】 津地区医師会、久居一志地区医師会、
三重大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター

【後援】 三重県

人生会議とは？

「もしもの時」のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、あなたの家族など大切な人と、そして医療・ケアチームの人達とも繰り返し話し合う取り組みのことをアドバンス・ケア・プランニング（ACP）と言いますが、それを多くの人にも馴染んでもらえるように、厚生労働省が公募で決めた愛称が「人生会議」です。

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、受たい医療やケアについて、自分で決めたり希望を人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。だからこそ、元気なうちから自分の人生の最終章を、どこで、どのように過ごしたいのかについて考え、周囲の人達と一緒に、「人生会議」をしておくことが大切です。



プログラム

はじめに (13:50~14:00)

本講座の概要提示

座長：中橋 恒 (松山ペテル病院)
辻川 真弓 (鈴鹿医療科学大学看護学部)

第一部 (14:00~15:00)

講演

「元気な頃から人生会議

～本人と家族、人生会議の進め方～

講師：西川 満則 (国立長寿研究医療センター 緩和ケア診療部医長)
大城 京子 (居宅介護支援事業所 快護相談所 和び咲び 副所長 主任介護支援専門員)

第二部 (15:00~15:35)

動画上映

「これから人生会議を始める人に、 私たちが伝えたいこと」

第一話：母と私の人生会議～父の看取りの経験をふまえて～
小林 美香子 (伊勢赤十字病院研修センター 看護師)

第二話：最期の望みを叶えた忘れられない患者さん
～訪問看護師の立場から～
岡田 まり (訪問看護ステーションほたるいせ 訪問看護認定看護師)

第三話：もしもの話は難しい～心臓病と脳卒中の場合～
中村 可奈 (元・三重ハートセンター 看護師)
菊川 栄子 (藤田医科大学七栗記念病院 地域連携室 看護師)
辻川 真弓 (鈴鹿医療科学大学看護学部教授 看護師)

第三部 (15:35~15:50)

総合討論 講師と動画出演者、座長を含めての討論

この講座は、市民の皆様が人生会議について知り、実際にどうしたらいいのかのヒントを得る機会になることを目指しています。どうか皆様、ぜひ周囲の方もお誘いいただき、ご参加ください。

アクセス

会場： 三重県総合文化センター 大ホール

○公共交通機関利用の場合

最寄駅：津駅 (近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)

(津駅西口から約1.8km
バスまたはタクシーで約4分、徒歩で約24分)

○自家用車利用の場合

国道23号線信号機「県庁前」から約2.8km、約10分
伊勢自動車道 芸濃I.C.から約15分、津I.C.から約10分

※カーナビには代表電話 (059-233-1111) を入れると便利
距離や所要時間は三重県総合文化センターのHPから引用

